

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

大 阪 府 警 察

目 次

特 別 推 進 項 目	頁
G7広島サミット、G7大阪・堺貿易大臣会合等の開催に向けた警察諸対策の推進	1
大阪・関西万博の開催に向けた警察諸対策の推進	2

重 点 目 標	頁
府民の期待と信頼に応える警察活動の推進	3
子供や女性の安全を守るための諸対策の推進	4
特殊詐欺の撲滅に向けた総合対策の推進	5
サイバー空間の安全を確保するための諸対策の推進	6
地域の安全安心を確保するための地域警察の強化	7
組織的な犯罪を封じ込めるための諸対策の推進	8
交通死亡事故を抑止するための諸対策の推進	9
テロ等重大事案の未然防止及び大規模災害等への的確な対応	10
○ 【別添】参考指標の推移（過去5年）Ⅰ・Ⅱ	

令和5年大阪府警察重点目標特別推進項目推進結果報告書

G7広島サミット、G7大阪・堺貿易大臣会合等の開催に向けた警察諸対策の推進

推
進
状
況

1 G7広島サミット等の開催に向けた態勢の確立

警備部警備第一課に附置した「サミット対策室」が専従でテロ等違法行為の未然防止や各種警戒警備等の諸対策を推進するとともに、本部長を委員長とする「大阪府警察G7サミット対策委員会」を設置の上、同委員会を定期的に開催し、各部門が緊密に連携し、各種課題の調整、検討を図りました。

また、「2023年G7貿易大臣会合大阪・堺推進協力協議会」の顧問に本部長が就任するなど、大阪府や堺市等、関係機関との連携を強化しました。

2 G7広島サミット等の開催に向けた各種対策の推進

テロ等違法行為の未然防止を図るとともに、国内外要人の身の安全と、関連する行事の安全かつ円滑な進行を確保するため、情報収集活動、関係施設に対する警戒警備、官民一体となったテロ対策・サイバー攻撃対策の強化、警護部隊や機動隊をはじめとする部隊の対処能力向上等に取り組みました。

【事例】

○ 大阪府テロ対策パートナーシップ協議会の開催

令和5年4月、官民一体となったテロ対策を推進することを目的に、公共交通機関、大規模集客施設等の事業者を集めて設立した「大阪府テロ対策パートナーシップ協議会」を開催し、テロへの認識の共有、自主警備の強化、警察との連携強化を図りました。



協議会の状況

○ G7大阪・堺貿易大臣会合警備総合訓練の実施

令和5年9月、大阪府警察総合訓練センターにおいて、警備部隊等の各種事案への対処能力の向上を図るとともに、部隊間における相互の緊密な連携を強化することを目的とした「G7大阪・堺貿易大臣会合警備総合訓練」を実施しました。



訓練の状況

○ G7大阪・堺貿易大臣会合等の開催に伴う警備の実施

令和5年10月、G7大阪・堺貿易大臣会合及びその関係行事の開催に伴い、「大阪府立国際会議場」等の会場のほか、関係施設、不特定多数の人が集まる公共交通機関等の警備を行いました。



警備の状況

3 サミット警備に伴う府民の理解及び協力の確保

関係機関等とも連携し、様々な広報媒体を活用した広報活動を行うなど、サミット警備に対する府民等の理解と協力を得るための対策を推進しました。

【事例】

○ 警戒警備に関する広報の実施

不審者・不審物件発見時の通報等の警戒警備に対する協力を呼び掛けるため、駅や電車内におけるポスターの掲示等を行いました。

○ 交通規制等に関する広報の実施

堺市内における交通規制や会場周辺におけるマイカー等の利用自粛に対する協力を呼び掛けるため、チラシの配布、立看板の設置等を行いました。



ポスター

※ G7広島サミットを含む一連の警備につきましては、府民の皆様の理解と協力をいただき、無事完遂することができました。

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

大阪・関西万博の開催に向けた警察諸対策の推進

推
進
状
況

1 大阪・関西万博の開催に向けた態勢の確立

- 令和5年4月1日、「安全・安心な大阪・関西万博」に向け、新たな所属として、「万博対策本部」を新設しました。
- 警察諸対策の審議・調整を踏むため、「大阪府警察2025年日本国際博覧会対策委員会」を設置し、所属間及び部門間における緊密かつ組織横断的な連携の強化に努めました。

【事例】

○ 万博対策本部の発足

令和5年4月5日、大阪府警察本部において万博対策本部の発足式を挙行し、「安全・安心な大阪・関西万博」に向け、職員の意味統一を図りました。



発足式の状況

○ 大阪府警察2025年日本国際博覧会対策委員会の開催

「大阪府警察2025年日本国際博覧会対策委員会」を定期的開催し、これまでテロ対策やサイバーセキュリティ対策等の各種課題について協議しました。



委員会開催時の状況

2 「世界一安全な万博」の実現に向けた効果的な取組の推進

- 「2025年日本国際博覧会の開催に伴う大阪府警察業務推進要綱」を制定し、各部門が緊密に連携し、組織一丸となった万博関連業務を推進しました。
- 「安全・安心な大阪・関西万博」に向けた機運醸成の取組として、啓発物品を作成し、府民に対して、万博開催に伴う各種対策への理解と協力を呼びかけました。

【事例】

○ 警察諸対策の推進

テロ対策をはじめ、国内外要人の警衛警護、来場者に対する雑踏対策などの警備対策のほか、会場へのアクセスルートを中心に、交通安全施設の整備等、交通の安全と円滑を確保するための交通対策を推進しました。

○ 日本国際博覧会協会主催の会議への参画

日本国際博覧会協会主催の「安全対策協議会」や「来場者輸送対策協議会」に出席し、警備対策や交通対策に関する協議を行ったほか、「大阪府鉄道警察連絡協議会定例会」に出席し、鉄道事業者等と雑踏対策やサイバー攻撃対策などの情報共有を行い、連携の強化に努めました。

○ 広報用クリアファイル及びマグネットシートの作成・配布

広報用クリアファイルを作成し、秋の全国交通安全運動等の各種イベントにおいて配布したほか、パトカー等にマグネットシートを貼付し、府民の方々への機運醸成を図りました。



マグネットシート

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

府民の期待と信頼に応える警察活動の推進

推進状況

1 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策の推進

- 「子供や女性を狙った性犯罪」、「特殊詐欺」、「自動車関連犯罪」を大阪重点犯罪に指定し、犯人検挙と犯罪被害防止の両面から強力に対策を推進しました。
- 「大阪府安全なまちづくり推進会議」の開催等、自治体、事業者、地域住民等と連携・協働したオール大阪の体制による各種取組を推進したほか、防犯カメラの設置・更新等による防犯環境の整備を推進しました。

【事例】

○ 「セレッソ大阪」との協定締結

犯罪被害防止に向けた情報発信や防犯啓発物品の作成・掲示等に関する連携強化を図るため、「犯罪被害防止」や、「高齢者、子供や女性の安全・安心」等を連携事項とした「安全なまちづくりに関する協定」を締結しました。



協定締結式

2 府民生活を脅かす重要犯罪・重要窃盗への的確な対処

- 重要犯罪・重要窃盗事件発生時には、捜査員を集中的に投入し、「捜査・鑑識・科学」及び情報解析が一体となった組織総合力を発揮した捜査を推進しました。
- 発生実態、地理的特徴等捜査情報を集約・分析し、関係所属と情報共有するとともに先制的な捜査を推進し、被害の続発及び未然防止に努めました。
- 贈収賄事件や悪質な選挙違反をはじめとする政治・行政をむしばむ不正事案や、金融・企業をはじめとする経済的不正事案について、捜査を推進しました。
- 公開捜査や捜査特別報奨金制度を活用して、情報提供を広く求めるなど、事件の早期解決に向けた捜査を推進しました。

【事例】

○ 住居侵入、強盗致傷事件の検挙

守口市内の民家で発生した住居侵入、強盗致傷事件について、少年を含む被疑者7名を検挙しました。

○ 国産高級車を狙った組織的広域窃盗事件の検挙

令和3年9月から翌年8月までに、府下を中心に発生していた国産高級自動車を対象とした窃盗事件（73件、被害総額約4億3,000万円）について、被疑者16名を検挙しました。

○ 市立病院における贈収賄事件の検挙

医師らによる医療器具の選定を巡る贈収賄事件について、被疑者5名を検挙しました。

3 府民からの相談等への迅速・的確な対応及び適切な被害者支援の推進

- 府民からの相談等に対し、人権に配慮しつつ、あらゆる危険性や切迫性等を視野に入れ、迅速かつ的確な組織的対応に努めました。
- 自治体等の関係機関・団体と連携し、犯罪被害者等に寄り添った支援に努めるとともに、犯罪被害者等支援制度の更なる拡充を図りました。

4 変容する日本社会に的確に対応するための組織運営の推進

- 治安事象への対応に「警戒の空白」が生じないように、部門を超えたリソースの重点化に取り組みました。
- 将来の警察組織を担うに相応しい人材を確保するため、初めて保護者参加型の体験セミナーや他機関との合同セミナー等を開催するなど、積極的な採用活動を推進しました。

【事例】

○ デジタルサイネージ（電子看板）による採用募集映像の放映

大型商業施設等への働きかけを強化し、人通りの多い場所に設置されたデジタルサイネージで広報用動画を放映しました。



梅田駅地下道における放映状況

【令和5年大阪重点犯罪の認知・検挙状況】①～④

	全刑法犯	子供や女性を狙った性犯罪				特殊詐欺	自動車関連犯罪		
		不同意性交等	不同意わいせつ	公然わいせつ	痴漢		自動車盗	車上ねらい	部品ねらい
認知件数	80,155	289	796	353	計上なし	2,649	447	4,014	2,609
前年比	+11,348	+76	+169	+4	計上なし	+585	-205	+100	+264
検挙件数	21,406	217	583	255	247	634	100	696	256
前年比	+3,297	+50	+100	+29	+4	+65	-58	+107	-74
検挙人員	15,775	192	469	234	224	237	77	190	109
前年比	+1,906	+24	+100	+34	+28	+36	+11	+10	+17

【重要犯罪の認知・検挙状況】⑤～⑧

罪種(手口)	認知件数				検挙件数			
	令和5年	令和4年	件数	増減率	令和5年	令和4年	件数	増減率
殺 人	138	127	11	8.7	135	107	28	26.2
強 盗	209	168	41	24.4	166	135	31	23.0
放 火	106	130	-24	-18.5	72	90	-18	-20.0
不同意性交等	289	213	76	35.7	217	167	50	29.9
痴漢誘拐・人身売買	66	47	19	40.4	48	46	2	4.3
不同意わいせつ	796	627	169	27.0	583	483	100	20.7

※「不同意性交等」は、強制性交等の件数を含み、「令和4年件数」は、強制性交等の件数を示す。
 ※「不同意わいせつ」は、強制わいせつ等の件数を含み、「令和4年件数」は、強制わいせつ等の件数を示す。

【重要窃盗犯の認知・検挙状況】⑨～⑫

罪種(手口)	認知件数				検挙件数			
	令和5年	令和4年	件数	増減率	令和5年	令和4年	件数	増減率
侵 入 盗	1,590	1,578	12	0.8	740	684	56	8.2
自 動 車 盗	447	652	-205	-31.4	100	158	-58	-36.7
ひったくり	114	138	-24	-17.4	74	93	-19	-20.4
す り	345	245	100	40.8	54	62	-8	-12.9

注：各指標に記載の①～⑫は、別添に掲示の【参考指標の推移 I】の番号を示す。

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

子供や女性の安全を守るための諸対策の推進

推
進
状
況

1 人身安全関連事案への迅速かつ的確な組織的対応の推進

- 依然として高水準で推移する人身安全関連事案について、府下15警察署の体制を強化し、被害者等の安全確保を最優先とした迅速かつ的確な組織的対応に努めました。
- 行方不明事案を認知した際は、事件性を念頭に置き、関係所属と連携の上、速やかに捜索体制を構築して行方不明者の早期発見保護に努めました。

【事例】

○ 行方不明高齢者の発見保護

高齢者の行方不明事案を認知後、関係部門と連携して迅速に捜索部隊を編成し、防犯カメラ精査や捜索活動を効果的に行った結果、山中に迷い込んでいた高齢者を無事に発見保護しました。

2 児童虐待事案への迅速かつ的確な対応の推進

- 児童虐待が疑われる事案を認知した際は、行為者と児童を一時的に分離した上で、早期に児童の安全を確認し、速やかに児童相談所に通告するなど、安全確保の措置を徹底しました。
- 児童相談所等から提供された情報や援助要請に対し、事件化を含めた速やかな対応を徹底しました。また、児童虐待の早期発見や再被害を防止するため、関係機関との合同研修会や児童虐待事例検討会を行う等、連携を強化しました。

【事例】

○ 警察独自の家庭訪問活動における児童虐待の早期発見及び再被害防止

当府警では平成29年から、府警の独自施策として、警察が児童虐待の通告をした家庭について、児童相談所等からの情報等をもとに、警察でリスク分析をし、注意が必要と認めた家庭への個別訪問を実施しています。令和5年においても、訪問活動時に児童虐待の疑いを認めた場合は、児童相談所と連携して早期に児童を保護するなど再被害防止を図りました。

3 子供や女性を狙った犯罪に対する諸対策の推進

- 性犯罪及び声掛け等の性犯罪前兆事案の発生情報を集約・分析し、行為者に対して先制・予防的な検挙や指導・警告を行いました。
- 防犯教室の開催、学校等と連携した不審者対応訓練の実施、産学官協働による広報啓発活動の実施、安まちメールやYouTube等の各種広報媒体を活用した地域安全情報の提供等により、府民の自主防犯行動を促進しました。

【事例】

○ 事業者等と連携した広報啓発活動の実施

大学及び事業者と協働で女性被害防止ポスター等を制作し、関西最大級のファッションイベント等で活用したほか、専門学校やテレビ局アナウンサーの協力を得て、防犯標語「5つのやくそく」を題材とした動画を制作し、防犯教室で放映するなど、広報啓発活動を実施しました。



広報啓発動画



ポスター

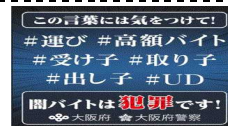
4 少年の健全育成を図る諸対策の推進

- 大麻事犯や、児童買春・児童ポルノ禁止法違反事件をはじめとする性的搾取事犯を検挙しました。
- 大麻蔓延防止及びSNS等に起因する犯罪への加担を防止するため、各学校で非行防止教室を実施するとともに、SNSやデジタルサイネージを活用した広報啓発活動を実施しました。

【事例】

○ 関係機関等と連携した非行防止活動の推進

学校や自治体等と連携して、大麻乱用防止、SNS被害防止、犯罪への加担防止に係る広報啓発活動を推進しました。



SNS広告

参
考
指
標

【ストーカー・DV及び行方不明事案の相談等件数】⑬

	令和5年	総数	前年比	増減率
ストーカー事案相談受理件数	1,113		+76	+7.3%
DV事案対応件数	10,777		+394	+3.8%
行方不明者届出件数	7,762		+538	+7.4%

【児童虐待事案通告児童数及び検挙件数】⑭、⑮

	令和4年	令和5年	増減
児童通告数	12,942	13,216	274
検挙件数(人員)	149(152)	122(125)	-27(-27)

【少年による大麻事犯の検挙件数】⑯

	令和4年	令和5年	増減数
大 麻 事 犯	172	199	27
大麻取締法	159	197	38
麻薬特例法	13	2	-11

注：各指標に記載の⑬～⑯は、別添に掲示の【参考指標の推移Ⅰ・Ⅱ】の番号を示す。

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

特殊詐欺の撲滅に向けた総合対策の推進

推
進
状
況

1 徹底した取締りの推進

- 迅速・的確な初動対応による実行犯の現場検挙を徹底するとともに、犯行グループに対する突き上げ捜査を推進しました。
- 海外を拠点としたグループや、役割分担の上、別々の場所から電話をかける架け子グループの取締りを推進しました。
- 犯行使用電話や犯行使用口座を無力化する犯行ツール対策を推進するとともに、電子マネー等を利用して犯罪収益のマネー・ローンダリングを行っていた事業者の取締りを推進しました。

【事例】

○ 海外に拠点を置く特殊詐欺犯行グループの検挙

ベトナムに拠点を置いて活動していた百貨店従業員等を騙る架け子グループを、現地の捜査機関等と連携し、検挙しました。

○ 架け子グループの検挙

役割を分担して個人宅など別々の場所から電話をかける架け子グループの首謀者らを検挙し、犯行グループを壊滅しました。

○ マネー・ローンダリングを行う電子マネー買取業者の検挙

特殊詐欺の被害金を電子マネー等を利用してマネー・ローンダリングを行っていた事業者を検挙しました。

2 高齢者等に対する発生実態に即した被害防止対策の推進

- 事業者等と連携した広報啓発、コールセンター等を活用した注意喚起の実施、防犯機能付電話機等の普及促進等による被害防止活動を推進しました。
- 様々な情報発信ツールを利用してタイムリーな注意喚起を実施したほか、子や孫等の幅広い年代に、高齢者を被害から守るための広報啓発活動を行いました。

【事例】

○ SNS等を活用したタイムリーな注意喚起の実施

安まちメール、X（旧Twitter）、防犯速報等により、タイムリーな注意喚起を行いました。

○ 自治体等と連携した固定電話機対策の推進

固定電話に設置する自動録音機等の特殊詐欺対策機器の普及促進を図るとともに、電気通信事業者のナンバーディスプレイ無償化等サービスの利用促進を図りました。

○ 「セレッソ大阪」と連携した広報啓発活動の実施

安全なまちづくりに関する協定を締結し、選手による「闇バイト」への加担防止を呼び掛ける動画を、大阪府警察ウェブサイト、YouTube等で放映して、SNS等に起因する犯罪加担防止対策を推進しました。



広報啓発動画



広報啓発動画



ポスター

3 金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策の推進

- 金融機関やコンビニエンスストア、自治体等との連携を一層強化し、声掛け訓練、広報啓発活動等、官民一体となった被害防止対策を推進しました。
- 還付金詐欺対策としてATM等における警戒活動を強化するとともに、架空料金請求詐欺対策ではコンビニエンスストアに対する防犯指導を実施するなど、水際対策を徹底しました。

【事例】

○ コンビニエンスストア各社と連携した架空料金請求詐欺被害防止対策の実施

従業員に対し、電子マネーを購入する高齢者等への声掛け要領等を記載した「声掛けシート」を配布するとともに、声掛け訓練や積極的な通報依頼等の水際対策を実施しました。

○ 官民一体となった「ストップ！ATMでの携帯電話」運動の推進

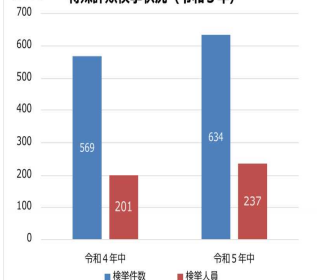
「ATMでの携帯電話の通話は、しない、させない」ことを社会に定着させることを目的に、金融機関と連携して、各種広報啓発活動を推進しました。

参
考
指
標

【特殊詐欺の認知・検挙状況】⑰～⑳

令和5年	認知件数			被害金額(千円)	増減率
	既達	未達	増減率		
特殊詐欺全体	2,649	2,585	64	3,609,396	13%
オレオレ詐欺	111	110	1	591,786	53%
預貯金詐欺	404	382	22	417,080	7%
架空料金請求詐欺	695	683	12	1,011,890	19%
融資保証金詐欺	7	7	0	15,352	-30%
運付金詐欺	944	938	6	963,343	-7%
金融商品詐欺	4	4	0	24,550	-9%
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	-100%
ギャンブル詐欺	0	0	0	0	-100%
その他の特殊詐欺	14	14	0	21,514	-
キャッシュカード詐欺盗	470	447	23	563,881	25%

特殊詐欺検挙状況(令和5年)



【特殊詐欺の未然防止件数】

	令和4年	令和5年	増減
未然防止件数	1,483	2,267	784
未然防止金額 (千円)	102,777	97,201	-5,576

※ 上記の対策等を講じましたが、認知件数及び被害金額ともに前年と比較すると増加しました。

注：各指標に記載の⑰～⑳は、別添に掲示の【参考指標の推移Ⅱ】の番号を示す。

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

サイバー空間の安全を確保するための諸対策の推進

推
進
状
況

1 サイバー空間における脅威に対処するための人的基盤の強化

- 警察職員全体の知識・技能の底上げのため、サイバー犯罪捜査に関する各種教養を推進しました。
- 専門的な捜査員の育成のため、最新の情報通信技術の知識及び高度な技能の取得を目的とした民間企業派遣研修を実施しました。

【事例】

○ 競技会の開催

職員の対処能力の向上を図るため、全警察署及び警察本部各部対抗による、サイバーセキュリティに関する知識や技術を競う「サイバーセキュリティ競技会」を実施しました。

○ オンライン教養の実施

専門捜査員の育成のため、情報通信技術に関して高度な知見を有するサイバーセキュリティアドバイザー（国立大学法人大阪大学教授）によるオンライン教養を実施しました。

2 サイバー事案への対処の強化

- サイバー事案は、匿名性が高く、地理的・時間的な制約を受けない特性があることから、迅速かつ多角的な証拠収集と徹底した解析・分析による取締りを推進するとともに、事案の認知・捜査・被害防止対策等の各段階において、関係各部門や関係機関と連携を強化し、対処にあたりました。

【事例】

○ サイバー事案における国際連携

府下企業に対する不正アクセス事件捜査の過程で、フィッシングツールを用いて不正に入手したクレジットカード情報を使用して通販サイトの商品を窃取する等したインドネシア居住の同国人被疑者を特定、警察庁やインドネシア国家警察等と連携し、国際共同捜査を進めた結果、同国家警察が、同被疑者をインドネシア国内で逮捕しました。

3 サイバー空間を利用する府民の安全安心の確保

- サイバー防犯ボランティアと連携し、小学生を対象としたSNS等の安全な利用に関する防犯教室を実施（76回、約9000名）しました。
- 企業や医療機関等に対し、ランサムウェア等サイバー攻撃への被害防止に関するセミナー等を実施（23回）しました。
- 相談や通報等を通じて、サイバー事案の実態を把握し、被害の未然防止や拡大防止のため、安まちアプリをはじめ、X（旧・Twitter）等各種広報媒体により、タイムリーな注意喚起を行いました。

【事例】

○ 事業者と連携した広報啓発活動の推進

協力企業のキャラクターを活用したポスターや動画等を作成するとともに、同キャラクターを一日警察署長に任命し、万博記念公園駅構内において、サイバーセキュリティに関する広報啓発のキックオフイベントを実施しました。



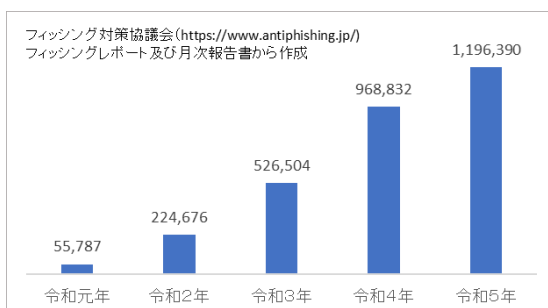
○ 医療機関におけるサイバーセキュリティセミナーの実施

ランサムウェア被害の増加を受けて、医療機関の職員に対し、被害の未然防止・拡大防止に関するセミナーを実施しました。



セミナー開催時の状況

【フィッシング報告件数の推移（全国）】



実在する企業・団体等や官公庁を装うなどしたメール又はSMSを送り、その企業等のウェブサイトに見せかけて作成した偽のウェブサイト（フィッシングサイト）を受信者が閲覧するよう誘導し、当該フィッシングサイトでアカウント情報やクレジットカード番号等を不正に入手する「フィッシング」が右肩上がり増加している。

参
考
指
標

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

地域の安全安心を確保するための地域警察の強化

推 進 状 況

1 地域の日常生活の安全と平穏の確保

- 地域の犯罪や交通事故の発生状況等を分析するなどして、地域の実態を把握し、実態に即した警戒活動を推進しました。
- 職務質問技能指導官によるロールプレイング方式での教養を実施し、職務質問能力の更なる向上を図るとともに、動画資料を活用するなど、効果的な教養により、地域警察官個々の職務執行力の向上に努めました。
- 通信指令室を司令塔として、本部関係所属と警察署が連携した組織的な活動を展開し、被害の拡大防止や被疑者の早期検挙に努めました。

【事例】

○ 特殊詐欺事件の被疑者の検挙

警察官になりすましてキャッシュカードを窃取する特殊詐欺被疑事件について、事件認知後、迅速に組織的な初動警察活動を展開し、本部執行隊と警察署の連携により、不審者を職務質問した結果、被疑者と判明し検挙に至るなど、多くの被疑者を検挙しました。

2 地域に即した地域安全活動の推進

- 巡回連絡等を通じて、地域住民の要望等の把握に努め、寄せられた相談等については、迅速に組織で情報共有し、適切な対応に努めました。
- 地域住民等と協働した、通学路等における子供の安全見守り活動等、地域安全活動を推進しました。

【事例】

○ 鉄道利用者の安全を確保するための特別警戒等の実施

「鉄道利用者の安全確保に関する包括連携協定」に基づき、鉄道施設内における利用者を狙った無差別殺傷事件を未然防止すべく、鉄道事業者との合同警戒を実施したほか、東大阪市役所、東大阪市消防等との協働による不審者対応訓練を実施しました。



合同警戒実施時の状況

3 地域警察におけるセキュリティの強化

- 交番等の施設のセキュリティ強化、装備品等の整備をはじめ、実際に発生した受傷事故等の検証をもとに教養を実施し、地域警察の強化を図りました。
- 交番をオンライン化するなど、職場環境の改善を図り、業務の効率化に努めたほか、警察機能を最大限に発揮できることを目的とした「交番等の最適化」を推進しました。

【事例】

○ 「交番等の最適化」計画の推進

警察機能を最大限に発揮できるよう、交番の数や配置を計画的に統合、移転及び新設する「交番等の最適化」に取り組んでおり、令和5年度は、9警察署9交番を廃止、統合し、令和6年度から警ら連絡所として運用することとなりました。

参 考 指 標

【地域警察官による検挙状況】⑳

年	区分	刑法犯 検挙件数	特別法犯 検挙件数
令和5年		9,329	2,461
令和4年		8,044	2,119
増 減		+1,285	342
		+16.0%	16.1%

【110番受理状況】㉓、㉔

年	区分	総受理件数	有効通報件数	非有効通報件数
		1日平均	1日平均	1日平均
令和5年		1,183,540	896,128	287,412
		3,243	2,455	788
令和4年		1,078,783	827,288	251,495
		2,956	2,267	689
増減		+104,757	+68,840	+35,917
		+287	+188	+99

注：各指標に記載の㉓～㉔は、別添に掲示の【参考指標の推移Ⅱ】の番号を示す。

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

組織的な犯罪を封じ込めるための諸対策の推進

推
進
状
況

1 暴力団総合対策の推進

- 六代目山口組と神戸山口組に対する特定抗争指定暴力団等の指定延長をしたほか、組織の幹部を含む多数の構成員を検挙しました。
- 暴力団と密接な関係にある準暴力団等のメンバーや、「匿名・流動型犯罪グループ」等特殊詐欺等に関与する勢力を検挙するなど、治安を脅かす犯罪グループに対する取締りを推進しました。

【事例】

○ 暴力団排除及び浄化対策の推進

歓楽街における暴力的不法行為等の事件化、違法風俗店摘発や暴力団排除条例の効果的な適用により、暴力団や暴力団を後ろ盾とする準暴力団等に対する取締りを推進しました。

○ 準暴力団等による特殊詐欺事件の検挙

百貨店店員等を騙る特殊詐欺事件で、準暴力団等メンバーを検挙しました。

2 薬物犯罪対策及び外国人組織犯罪対策の推進

- 関係機関及び他府県警察と連携し、覚醒剤、大麻等規制薬物の密輸、密売事犯の検挙及び密売人、末端乱用者に対する徹底した取締りを強力に推進し、密輸密売組織を壊滅に追い込みました。また、薬物事犯の根絶をPRした広告を掲載するなどの広報啓発活動を推進しました。
- 外国人犯罪組織を大阪に根付かせないために、組織的な外国人犯罪に対する検挙活動や外国人犯罪に利用される偽造在留カード供給グループ等の犯罪インフラの撲滅に向けた取締りを推進しました。
- 技能実習生の監理団体や留学生を受け入れる学校法人等と連携し、技能実習生等が在留外国人が犯罪組織に加担したり、取り込まれないよう安全対策を推進するとともに、偽造身分証を利用した各種犯罪の取締りを推進しました。

【事例】

○ 外国人犯罪組織による覚醒剤密輸事件の検挙

長期間にわたる広域捜査を実施して、外国人被疑者を多数検挙するとともに、国内の保管倉庫を摘発して、100キログラムを超える覚醒剤を押収し、流通を阻止しました。



押収した覚醒剤

○ 営利目的等略取・強盗致傷・拐取者身の代金要求等事件の検挙

金銭トラブルに起因した営利目的等略取・強盗致傷・拐取者身の代金要求等事件で、親族から現金を脅し取った者を含む複数の外国人を検挙しました。

○ YouTube等を活用した在留外国人の安全確保に向けた総合対策の推進

日本の法律やルールに関するチラシを多言語で作成・配布するとともに、指導啓発動画をYouTube公式チャンネル等に掲載するなど、在留外国人の安全確保に向けた対策を推進しました。

3 犯罪収益対策の推進

- 歓楽街における違法賭博店や風俗店の摘発等を行うとともに、組織的犯罪処罰法を積極的に適用し、犯罪収益の剥奪に着目した取締りを推進しました。

【事例】

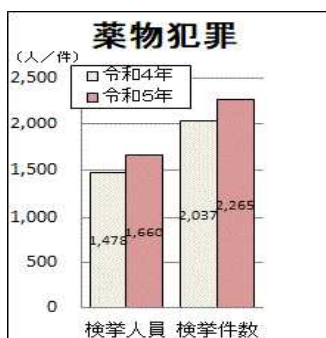
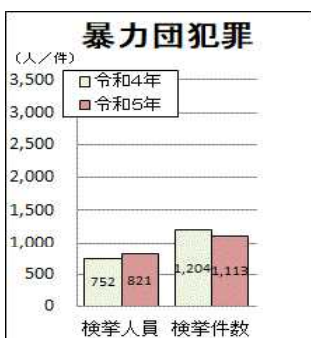
○ 賭博店の摘発による犯罪収益の剥奪に向けた捜査

違法なアミューズメントカジノ店を摘発して、経営者等を検挙するとともに、組織的犯罪処罰法を適用し犯罪収益を剥奪しました。

○ 無限連鎖講防止法違反事件の検挙等

SNSを利用して副業勧誘を行い多額の現金を集めていた、いわゆるねずみ講組織のメンバーらを検挙するとともに、約4億円の犯罪収益等に対する起訴前没収保全請求を行いました。

参
考
指
標



注：各指標に記載の②⑤～②⑦は、別添に揭示の【参考指標の推移Ⅱ】の番号を示す。

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

交通死亡事故を抑止するための諸対策の推進

推
進
状
況

1 交通事故発生実態の分析結果に基づく総合対策の推進

- 死亡・重傷事故が多発している「幹線道路」及び「交差点」を中心とした交通指導取締りを強化するとともに、自分本位で心にゆとりのない悪質・危険な運転を「いらち運転」と定義し、様々な活動の場において、いらち運転撲滅に向けた広報啓発活動を実施するなど、総合的な交通事故抑止対策を推進しました。
- 学校や自治体等と連携し、対象者の特性に応じた交通安全教育を実施しました。とりわけ、高齢者が関係する交通死亡事故が多発していることを受け、高齢者に対する交通安全教育を積極的に推進しました。

【事例】

○ 二輪車の交通事故抑止対策の実施

二輪車による交通死亡事故が多発していることを受け、抑止対策として、主要幹線道路を中心に、速度超過違反等に対する交通指導取締りを強化したほか、安全運転を促す広報啓発動画を作成・配信するなどの広報啓発活動を推進しました。

○ 自転車の交通事故抑止対策の実施

自転車指導啓発重点地区・路線を中心に、自転車利用者の危険な運転に対する交通指導取締りを強化したほか、乗車用ヘルメット着用促進の啓発動画を作成し、交通ルール遵守を呼び掛けるなどの広報啓発活動を推進しました。

○ 高齢運転者の特性に応じた対策の実施

俊敏性検査機を活用し、加齢による身体機能の変化を自覚するための交通安全教育を実施したほか、関係機関等と連携し、運転免許証の自主返納制度の周知や安全運転サポート車の普及啓発に向けたイベントを開催するなど、高齢運転者の交通事故防止を図りました。



イベント開催時の状況

2 悪質・危険運転者に対する交通指導取締り、交通事故事件捜査等の徹底

- 飲酒運転、著しい速度超過をはじめ、特定小型原動機付自転車等の電動モビリティの交通違反に重点を置いた交通指導取締りや、ひき逃げ事件被疑者の早期検挙及び危険運転致死傷事件等に対する緻密かつ厳正な捜査を徹底し、悪質・危険運転者の対策を実施しました。
- 可搬式速度違反自動取締装置を活用し、生活道路、通学路等において、交通指導取締りを実施しました。
- 本部と警察署が連携し、積極的に運転免許の仮停止制度の運用や行政処分の執行を実施し、悪質・危険な運転者の早期排除を推進しました。

【事例】

○ 特定小型原動機付自転車等の電動モビリティ対策の実施

本部と警察署の合同取締りを実施するなど、特定小型原動機付自転車等を対象とした交通指導取締りや、交通ルール遵守に向けた啓発動画を作成・配信する等の対策を推進しました。



取締り時の状況

3 安全で快適な交通環境づくりの推進

- 交通環境の変化や交通事故発生実態に即した交通規制となるよう道路管理者とともに、「ゾーン30プラス」をはじめとする、道路交通環境の整備を推進しました。
- 駐車実態に即した取締りや、駐車監視員の効果的な運用を実施するとともに、車両の使用制限命令や放置違反金の滞納処分を実施し、使用者責任の追及を徹底しました。

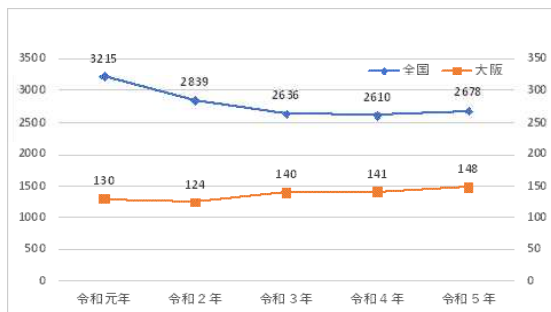
【事例】

○ 交通安全施設の整備

信号灯器の視認性向上や消費電力低減のため、LED式信号灯器の計画的な整備のほか、安全施設の老朽化対策として、歩行者や自転車の安全確保に係る横断歩道や一時停止の標示の定期的な確認を行い、適正な保守管理に努めました。

参
考
指
標

【交通事故死者数の推移（全国・大阪）】



【交通事故発生状況（全国・大阪）】

	全国		大阪	
	前年比	前年比	前年比	前年比
発生件数(件)	307,931	+2.4%	25,951	+1.7%
死者数(人)	2,678	+2.6%	148	+5.0%
負傷者数(人)	365,596	+2.5%	30,097	+1.1%
重傷者数(人)	27,636	+6.2%	3,057	+8.9%

※ 上記の対策等を講じましたが、交通事故死者数は前年と比較すると7人増加し、2年連続全国で最も多くなりました。

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

テロ等重大事案の未然防止及び大規模災害等への的確な対応

推
進
状
況

1 情報収集活動、事件捜査及び各種対策の推進

テロ等重大事案を引き起こすおそれのある勢力や個人、我が国に対して行われる有害活動、世界的規模で発生するサイバー攻撃等に関する情報収集・分析を強化しました。また、各種違法行為に対する厳正な取締りに努めたほか、我が国が保有する技術情報等の流出防止に向けた取組を推進しました。

【事例】

○ 技術情報等の流出の未然防止に向けたアウトリーチ活動の推進

技術情報等を保有する府下の企業や大学・研究機関に対し、同情報等を狙った外国からの働き掛けの手口やそれに対する有効な対策について情報提供するアウトリーチ活動を推進し、企業等による自主的な技術情報等の国外流出未然防止対策を支援しました。

○ 極左暴力集団活動家による電子計算機使用詐欺事件の検挙

電車で不正乗車を繰り返したとして、革マル派活動家の女を電子計算機使用詐欺容疑で逮捕するとともに、革マル派拠点の解放社関西支社等を搜索しました。

2 情勢に応じた警戒警備の徹底及び官民一体となったテロ対策等の推進

公共交通機関、外国公館等の重要施設及び大規模集客施設等に対する警戒警備を徹底するとともに、爆発物の原料となり得る化学物質を販売・管理する事業者等に対する管理者対策をはじめ、関係機関、事業者、地域住民等と緊密に連携して行う官民一体のテロ対策を推進しました。

また、サイバー空間の脅威に対処するため、重要インフラ事業者等への情報セキュリティに関する情報提供等を行うなど各種対策を推進しました。

【事例】

○ サイバー攻撃対策協議会総会の開催

令和5年9月14日、大阪府サイバー攻撃対策協議会総会を開催し、重要インフラ事業者等と警察との情報共有及び連携の強化を図るとともに、サイバーインシデントの発生を想定した共同対処訓練を実施しました。



総会の状況

3 大規模災害等の緊急事態に備えた有事即応態勢の確立

南海トラフ巨大地震の被害想定等を踏まえ、自治体、関係機関等とも連携し、大規模災害等を想定した実戦的訓練を実施して対処能力の向上を図るなど、有事の際に即座に対応できる態勢の確立に努めました。

【事例】

○ 大震災総合訓練の実施

令和5年1月17日、大規模災害発生時における迅速な警備体制の確立、警備本部運営及び災害現場における対処能力の向上を目的に、大震災総合訓練を実施しました。

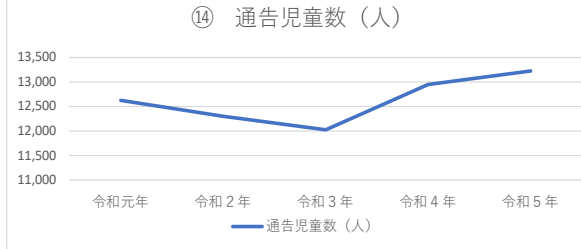
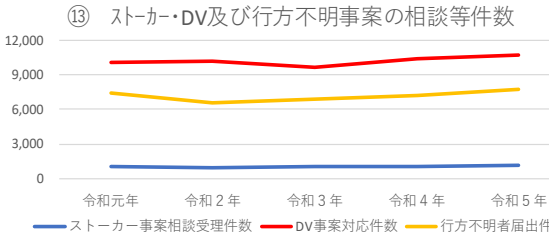
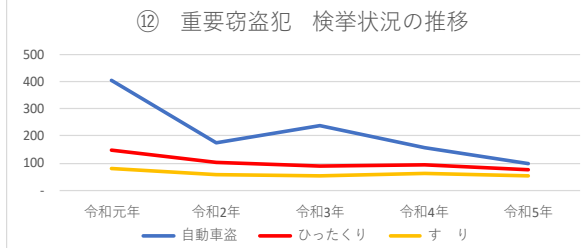
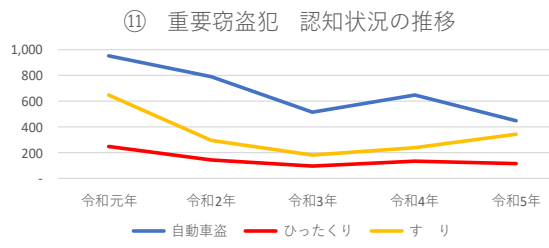
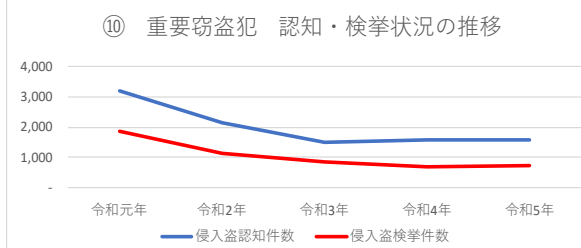
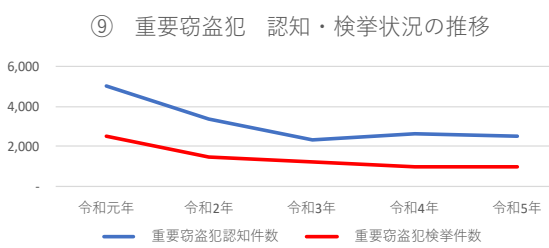
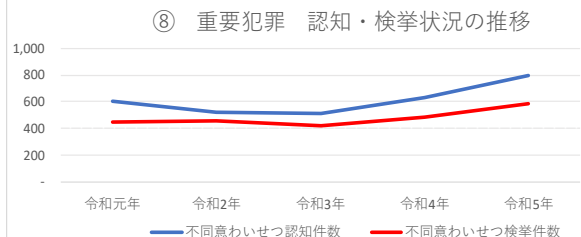
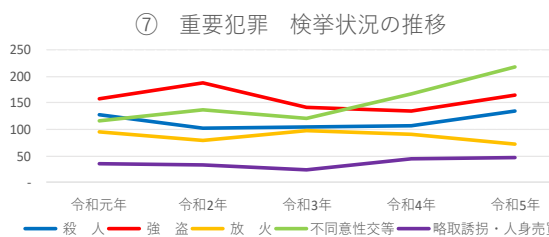
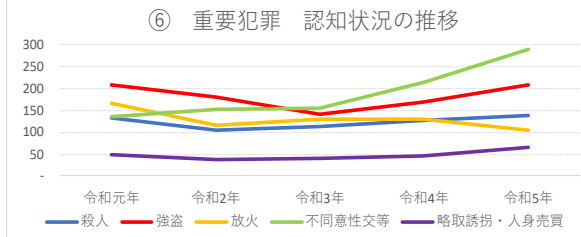
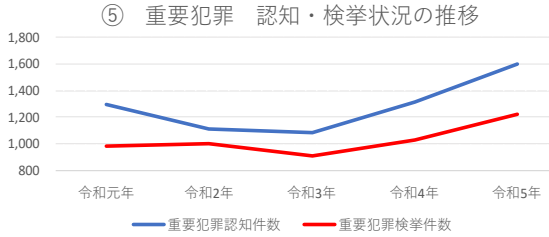
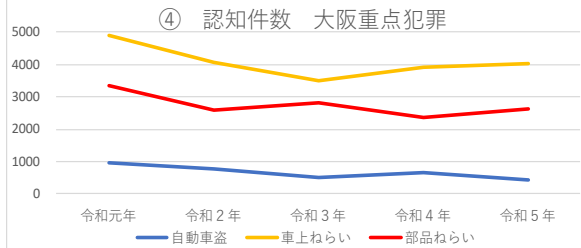
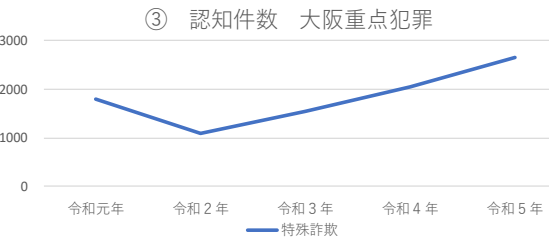
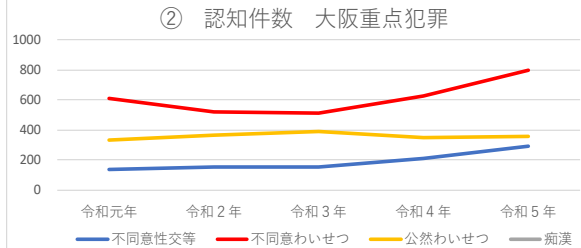


救出救助訓練の状況

令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

参考指標の推移 I

参考指標



令和5年大阪府警察重点目標推進結果報告書

参考指標の推移 II

参考指標

